

富山大学における男女共同参画推進事業の現状

【現状】平成20年度から22年度まで「富山循環型女性研究者育成システムの構築」の課題に取り組んだ。平成23年度以降も自学の経費で、①意識改革（Change）②人的資源の開拓と女性研究者の裾野の拡大（Challenge）③女性研究者の研究推進のための教育・研究環境の整備（Continue）を中心に男女共同参画推進事業を発展させている。

【女性研究者数の現状】平成17年度（10月1日現在）以降、本学の女性教員比率は上昇傾向にある。特に、平成26年度（5月1日現在）では、女性教員数は対前年比7名増の161名で、女性教員比率は17.9%となった。これは、教員総数の急激な減少（例えば団塊世代の男性の定年退職など）によるものではなく、女性教員数の増加に起因した女性教員比率の上昇である。このように、平成19年度の提案当初に掲げた、「平成29年までに女性教員比率20%を目指す！」との目標に近づいてきている。

【今年度の取組】2014 富山大学市民講座「輝く女性研究者たち」を主催した。（読売新聞社と共催）理系3名、文系3名の研究者による全6回の講座では、それぞれの専門の内容が一般市民に対して解り易く講演された。その模様は、富山県及び石川県版の読売新聞に速報と詳報で毎回報じられ、のべ507名が参加し、女性研究者の活躍を北陸地域へアピールする機会となった。

意識改革としては、通算4回目となる留学セミナーを6月に行った。今年は、留学経験を有する学内教職員3名が講師となり留学をキャリア形成に活かすことについて講演した。10月には、2回目となる全学ワークショップを開催し、「介護」「キャリア」「労働時間」「コミュニケーション」をキーワードに課題解決に向けたグループワークを行った。これら啓発事業や、現員数などの数値は年3回発行されているニュースレターを通じて学内外に情報発信している。

人的資源の開拓と女性研究者の裾野拡大として、人材バンクの運用を継続している。今年度は、理学部同窓会誌に登録依頼を掲載するほか、大学コンソーシアム富山関係者に登録呼びかけを行った。次世代育成として、理工チャレンジのキャラクターを配したポスター「キラ☆キラ理学部 girl ☆」を学科別に6枚作成し、オープンキャンパスで掲載して理系進学の推進を呼びかけた。昨年度に引き続き、富山県主催のイクメン・カジダン出前講座を理学部のキャリアデザインで受入れた。さらに、富山市主催のワーク・ライフ・バランス出前講座を共催し、教養教育1年生を対象に開講した。

女性研究者が研究を継続できる教育・研究環境の整備として、学長裁量経費に女性研究者支援経費が設けられて7回目となる今年度は、12件が採択された。研究サポーター制度は、今年度から前期・後期2回の定期募集に加え、突発的な要望にも対応して支援することになり、12名の女性研究者を支援している（10月27日現在）。ベビーシッター・休日保育利用料補助制度は、今年度から非常勤教職員を支援対象とし、これまでにのべ16名を支援した（10月27日現在）。夏季学童保育は、2キャンパスで10日間開催しのべ人数419名の児童が参加した。女性管理職の登用、女性教員の採用といったこれら一連の取組は、平成26年度「女性が輝く元気企業とやま賞」授与という形で富山県より高く評価された。

【連絡先】富山大学 男女共同参画推進室

TEL : 076-445-6146 FAX : 076-445-6063 E-mail : smart@ctg.u-toyama.ac.jp

URL: <http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/>

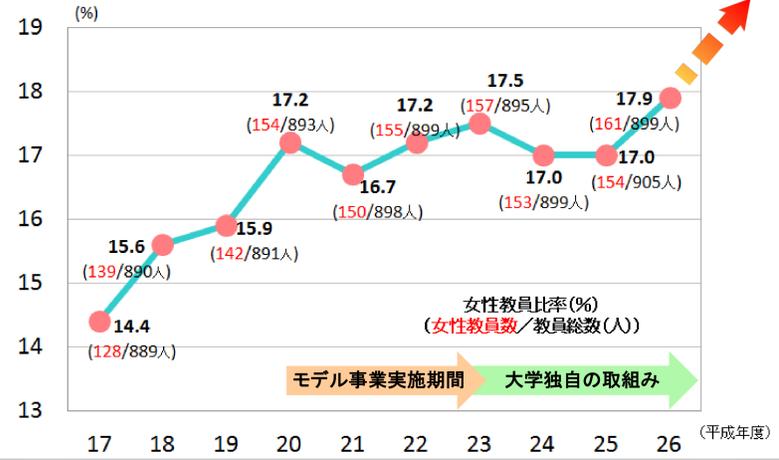


富山大学における男女共同参画推進事業の現状

平成20～22年度「女性研究者支援モデル育成」事業『富山循環型女性研究者育成システムの構築』の課題を継承し、3つの「C」を中心に男女共同参画推進事業を発展させている。



富山大学の女性教員比率の推移



2014富山大学市民講座「輝く女性研究者たち」

2014富山大学市民講座

8/30 永山くに子 今問われる「家族力」

9/6 竹内登美子 認知症Q&A 介護家族の心から学ぶ

9/13 大工原ちなみ 文学的想像力を豊かにーユタヤ文学を通してー

10/4 東田 千尋 伝統薬物研究が拓く神経変性疾患克服への希望

10/11 島添真美子 富山人と獅子舞、その「当たり前」な関係

10/18 神川 康子 生活の質(QOL)向上をめざして睡眠研究40年

受講者合計 507名 (全6回受講者 17名)

*速報・詳報が毎回読売新聞に掲載

Change 意識改革

セミナー 学生19名 教職員23名



男女共同参画推進セミナー

留学をキャリア形成に活かすということin五福

2014年6月19日(木) 午後4時～6時 五福キャンパス 人文学部 1階大会議室

講師: 舟田 真也 氏 (2013年ノーベル賞受賞者、筑波大学名誉教授)

講師: 松村 茂洋 先生 (2007年ノーベル賞受賞者、ボストン大学の教授)

講師: 湯田 智生 先生 (2003年フランス・博士後期課程での受賞)

ニュースレター 情報発信・広報活動

創刊 2012年6月 第9号2014年10月 学内教職員 県内の高等教育機関 女性研究者関連団体等



全学男女共同参画ワークショップ2014

「介護」「キャリア」「労働時間」「コミュニケーション」の「課題解決」に向けたグループワーク

グループワークの様子



グループの発表



Challenge

人的資源の開拓と女性研究者の裾野拡大

次世代育成

H26年度 オープンキャンパスで「キラ☆キラ理学部girl☆」ポスター掲示

理工部チャレンジ

理学部・化学科
数学科・地球科学科
物理学科・生物圏環境科学科の6学科ごとに作成

内閣府男女共同参画局「リコチャレ」



富山県主催 30名 「とやまイクメン・カジダン応援キャンペーン」理学部「キャリアデザイン」

講師: NPO法人ファザーリング・ジャパン 事務局長 徳倉 康之 氏

富山市主催 134名 「私らしく働くためのハッピーアドバイス～ワーク・ライフ・バランス～」富山大学1年生 総合科目「ジェンダー」

講師: 一般財団法人女性労働協会 専務理事 佐藤 千里 氏

富山大学人材バンク

登録者数 169 利用件数 124

H21年度 学内運用

H22年度 シーズ集データ転用 学外公開

H23年度 大学院修了予定生に登録の依頼

H24 H25年度 同窓会を通じた登録呼びかけ 大学院生に登録の依頼

H26年度 理学部同窓会誌に掲載

Continue

女性研究者の研究継続のための教育・研究環境の整備

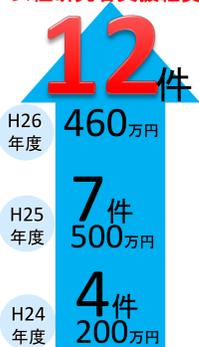


平成26年「女性が輝く元気企業とやま賞」受賞

- この賞は、女性の登用、活用及び能力開発に積極的に取り組む企業等に対して富山県より授与され、以下の功績が評価され受賞に繋がった。
- ①女性管理職の登用や女性教員採用への積極的な取り組み
 - ②女性活躍推進を目指して開催したシンポジウムやニュースレター発行による意識向上への取り組み
 - ③保育施設の設置など、仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備



リーダーシップ 育成助成金 女性研究者支援経費



研究サポーター 制度



ベビシター-休日保育 利用料補助制度 センター試験特別保育実施



夏季学童保育 五福・杉谷キャンパスでのべ20日間開催

のべ419名の児童が参加 科学教室 (夏季学童保育の一環) 6プログラムを実施 168名参加 県主催の『とやま科学技術週間』へ協力

